レッスン：SPA78

テーマ：自己実現

SPA 78/KE2000.A12/4/00

私の姉妹・兄弟たち、スピリット、光、火の子供たちよ。私たちはいつも主、絶対、主の聖性に抱かれています。

前回のレッスンでは自己実現に到達したパーソナリティーは、まだ自己実現に達していないパーソナリティーと同じようにはエレメンタルを作ることはない、と説明しました。パーソナリティーは最初、欲望的想念のエレメンタルを創造します。想念、思考は感情の支配下にあり、その理由は現在のパーソナリティーを構成する３つの体が同じハートのセンターに根付いているからです。パーソナリティーは実際にその同じセンターから考えています。その結果、形を維持する法則はバランスのステートにはありません。

その結果、形は不定形となり、人間のイデアの形にマッチしないのです。人間のイデアは創造界における人間の現れのためだけのものではありません。人間のイデアとはフォームでもあり、生の特質を完全に現しているもの全てのためのものです。

ですから、欲望的想念のエレメンタルが創造されています。しかしこれもまた思考の結果です。なぜならパーソナリティーが考え、想念を現すからです。想念は欲望の支配下にありますが、欲望の背後には思考があり、それが表現されるやいなや欲望が支配します。ですから、私たちはこの種のエレメンタルを創造します。

それではパーソナリティーが自己実現に達した時、エレメンタルの現れはどうなるでしょう？以前、無知のステートにいる間、現在のパーソナリティーは無数のエレメンタルを創造すると述べました。自己実現に達したパーソナリティーの場合はどうでしょうか？現在のパーソナリティーは無数のエレメンタル、エレメンタルの軍団を創造するでしょうか？想念の現れがあるでしょうか？答えはノーです。

現在のパーソナリティーがそのステートに留まる時、前とは同じやり方でエレメンタルを生み出すことはしません。結局、思考、想念の現れはなく、同調の現れ、神のブレーシス（＊神の意志）の現れ、神の黙想の現れがあります。

エレメンタルについてはどうでしょうか？そのパーソナリティーはエレメンタルを築くでしょうか？どう思いますか？答えはイエスです。しかし、他の人間に恩恵をもたらすためにエレメンタルが必要な時にのみ、それは創造されます。そしてエレメンタルを鎖のように延々と生み出すことはしません。言い換えれば、パーソナリティーはエレメンタルを築く、または投射するのです。そしてそれらのエレメンタルは必要な時に人間を助けるエンジェルなのです。そしてそれらのエレメンタルはアークエンジェルが投射して築くエンジェルと全く同じ性質のものです。それらのエレメンタルは生それ自体のスパーク、それらの「創造者」のスパークによって活性化されるのです。

勿論、自己実現したパーソナリティーはそのステートに留まることはしません。しかし、自己実現した現在のパーソナリティーが他の人間に受け入れられるようにバイブレーションを下げる時でも、他の人間を助けるためにそのようなエレメンタル、エンジェルを投射することがあります。しかし、自己実現したパーソナリティーがバイブレーションを下げて他の人間と交流するステートにある時には、一般的にエレメンタルの鎖、チェーンを創造しますが、それは想念的欲望のエレメンタルです。

Page2

前に、想念的欲望のエレメンタルは自己実現した現在のパーソナリティーによってのみ創造され、それは自己実現のステートにある時ではなく、他の同胞の人間と話すためにバイブレーションを必要なレベルに下げる時にそれが生じると、と述べました。さて、その決定は原因・結果の法則から来ます。そして永遠のパーソナリティーおよび経験を受け取り＆与える他の全ての人間の永遠のパーソナリティー達との関係から来ます。

それではその決定は同じ源から来るのでしょうか？どう思いますか？名前をもった現在のパーソナリティーがいて、その人が自己実現に達した後、自分の自由意志によって初めて再び転生のサイクルに下降します。しかし、例えば、自己実現後の２番目の転生においても、それは前と全く同じフォームに入ります。原因・結果の法則が再びそこに介入するでしょう。なぜならば、その現在のパーソナリティーは転生のサイクルのなかで経験を与え＆経験を受け取るからです…その人のサイコノエティカルな成長にとってそれらの経験は必要ないにもかかわらず。

経験を受け取る目的とは何でしょうか？経験を受け取る理由は何だと思いますか？経験を受け取ると言うとき、それは他人の苦しみを軽減するためです。もし原因があれば、類似した結果があり、その結果は転生のサイクルに留まる自己実現した現在のパーソナリティーによって背負われる経験となります。このようにして、経験が特定の現在のパーソナリティーによって受け取られるのです。

さて、前回のレッスンで述べたように、自己実現した現在のパーソナリティーは完全に再形成された諸体を持ち、実際に２つの体が１つになっています。つまり、それらの各体の背後には法則が完全にあることを意味します。その法則は完全にバランスと調和の状態にあります。その法則が完全な調和のなかにあるということは、大宇宙的に言えばそのセンターがこのポジションにあることを意味します。フォームと法則を提供するのは全体としてこの太陽なのです。このポジションは天上人のポジションだと言わなかったでしょうか？確かに言いました。最初に法則、そしてフォームがあり、実際それを提供するのは主なのです。

ですから、現在のパーソナリティーの体の背後にこの法則がありますが、どれが小宇宙的に最も重要なセンターでしょうか？それはハートに対応するセンターでしょうか？しかし今、このパーソナリティーはいかなる想念も現しません、もはや想念または感情の問題ではありません。この法則が形、つまり形を形成するときには、思考や感情を必要としません。フォーム、形を通じて生の特質を完全に表現します。そして生が表現されるためにはそれだけが必要なのです。

全てのなかに生があると前に述べましたが、しかしあらゆるものに生の現れがあるでしょうか？答えはノーです。そうです、生は全てを活性化しますが、生によって活性化されたもの全てが生を表現しているわけではありません。ですから形が生それ自体を表現している時にのみ、そうなるのです。全てを活性化し、存在させる原因としての法則があります。しかし、生が表現されない時の形ではありません。そして物質のあらゆる原子、あるいはマインド（マインドがどのようなバイブレーションであれ）のすべての原子のなかに、このようなケースがあります。

さて、そのような場合において、もし私達が何かに実在をもたらす調和を乱すなら、その原子を内側に保つのと同等のパワーが外側に向かいます。この法則のなかには多くのパワーがあるので、もし私たちがアンバランスを生み出すと、同等の力が外側に向かいます。イデアにしたがった形になっていない私たちの諸体についてはどうでしょうか？そこで何が起きるでしょうか？物質の原子にアンバランスがもたらされたのと同じ結果に苦しむでしょうか？ある物質の原子は最初からアンバランスなのでしょうか？それともバランスを失うのでしょうか？同じでしょうか？関係がありますか？イエスであり、ノーです。

Page3

私達のサイコノエティカル体では法則はバランスの取れた状態ではありません。それではパワーはどこにあるのでしょうか？パワーは外側に現されるのでしょうか？違います。その反対です。それゆえに最初は球形なのです。人間の形に関しては、アンバランスは物質の原子の場合とは反対の結果となります。それゆえに、私たちの諸体は最初は球形なのです。そうでなければ、実際私たちは体を持つことは出来なかったでしょう。特に肉体を。なぜなら、肉体はモナドである現在のパーソナリティー、つまり特定の現在のパーソナリティーのために築かれるからです。

ですから、現在のパーソナリティーのサイコノエティカル体の形がこのようにして最初形成されます。肉体は勿論法則に従って聖霊によって築かれます。

これまで、あなた方はたくさんの知識を受け取りましたが、重要なことはこの知識をどのように実践するかです。大切なことは、現在のパーソナリティーがいかにして毎日の生活のなかで自己をどのように現しているかです。そしてそれこそが最も重要な祈りなのです。多くの人が「祈ることは必要ですか？」と質問しますが、神は私たちの祈りを必要としているでしょうか？

ノーです。私たちが祈る時、実際それは自分たちのためであり、神のためではありません。私たちは祈りを必要としていますが、しかし繰り返しますが、私たちに最大の効果をもたらす最も重要な祈りとは毎日の生活のなかでの祈りです。同胞の人間たちに対して自分がどのように振る舞うかです。これが最も重要な祈りであり、この種の行動、振る舞いを達成するためには、私たちはそのためにワークする必要があります。そして最も重要なワークはエクササイズです。様々な素質的可能性のサイクルにおける様々な助けによって素質的可能性として提供されるものを利用することです。そしてそれら素質的可能性の全ては創造の元型の中、創造の大きな法則のなかにあるのです。ですから、この法則はそれら全てのなかで最も重要です。他の全ては、人間のイデアのみならず全てはその中にあります。とにかく、続けていきましょう、特にエクササイズと共に。

私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

**質問**

Ｑ：球体と肉体に関する部分を理解できません。

Ｋ：説明したように、この法則のアンバランスを創造すると…そこには物質の原子があります…外側への爆発が生じます。原子は完全に破壊され、原子が分解します。しかし、その現れのためのサイコノエティカル体として与えられるアダムとイブとしての人間のヒポスタシス（＊状態）については、サイコノエティカル体の形もまたこの法則に関するアンバランスを創造することによってその形を帯びます。しかし、今、その結果は物質の原子とは反対です。

パワーが外側に行く代わりに、それは内側に反応し、その結果球体になるのです。前に説明しませんでしたが、そのようになります。肉体として使われる現れは惑星の４つのエレメントを使います。そして勿論惑星は球体です。しかし、これについては前に述べたことがありません。今回が初めてです。

Ｑ：なぜ球体なのですか？球体の特定の質とは何ですか？

Ｋ：なぜかって？なぜなら、この現れはその特定の惑星の４つのエレメントを使用して表現されるからです。体が球体であるとき、それは不定形であり、その現れは生の本質を表現していません。その形からスタートします。現れの初め、その現れは手段を使いますが、その手段とは肉体であり、それは聖霊によって築かれます。肉体はその特定の現在のパーソナリティーの現れを示しません。以前は自己、セルフを表現していたのは現在のパーソナリティーではなく、それは性別の現れでした。しかしその現れが肉体を使用するや否や、性別が生じます。惑星は球体であり、この惑星で現わされる生のあらゆる形態はこの形からスタートするのです。

Page4

さて、最も低い無知の形を意味するこの形（＊球体）の原因はこの法則のアンバランスです。もしこの法則が調和のなかで完全に現されるなら、サイコノエティカル体の形は人間の理想的な形を帯びるでしょう。その中心が分かれ、ハートがより純粋になる結果、それは無条件の愛、生の本質を現すようになります。それは主のセンター、天上人、自己実現、そしてキリスト意識のセンターと一致するでしょうか？そのとおりです。私たちが諸体を離せば離すほど、つまり諸体を再形成すればするほど、このセンターは太陽となって光、主の光を放って他の人々を導くようになるのです。人々を助け、導くのです。導くのは主であり、名前をもった現在のパーソナリティーではありません。

Ｑ：サイキカル界のセンターですか？

Ｋ：諸世界、サイキカル体、ノエティカル体などについては忘れなさい。実際これが生じる時、それまで諸体について学んだことは忘れなさい。（＊その時には）諸体は浄化されます。諸体、その形はその背後にある法則それ自体の結果となります。そしてその法則は汎宇宙的キリストロゴス、イエスキリスト・ロゴス（そのキリスト・ロゴスとは天上人です）としての絶対存在から与えられるものです。この絶対存在の現れをイエスキリスト・ロゴスと呼ぶか否かはその人次第ですが、しかしそうなのです。

ですから、私たちが自己実現に到達すると、他人を助けるために与えられるもの、それを与えるのは主なのです。前回のレッスンで述べたように、いつも主を磔にすると言う時、それは全ての人間がお互いを磔にしているという意味であり、それはつまり主を磔にしていることになります。主は常に十字架の上にいます。なぜなら私たちは十字架の上にいるからです。それゆえに彼は十字架の上で述べたことを述べたのですが、それは誤解されました。実際、私たちは毎日の行動の故に、つねに十字架の上にいるのです。

Ｑ：それでは私たちは理想的なフォームからスタートし、人間のイデアを通じた現れの結果として私達はアンバランスをもたらし、そのために私達の形、フォームは球体になったのですか？

Ｋ：アンバランスは人間が現在のパーソナリティーとして表現される時に生じるので、それ以前ではありません。最初、人間は実存の諸世界のなかでセルフを現していましたが、その２つのヘブンのなかだけで現していました。

さて、彼らはサイコノエティカル体を持っていたでしょうか？確かに持っていましたが、それは純粋なサイコノエティカル体でした。現れがそれらのヘブンつまりサイコノエティカル界に入るためには、その現れはマインドの類似したバイブレーションを使う必要があります。しかし、彼らの現れはその本質を完全に現していたので、サイコノエティカル体は人間のイデアのフォーム、つまり天上人のフォームと完全にマッチしていました。

しかし、今人間がやるべき仕事を＜達成＞するためにマインドの低次のバイブレーションにおいて自らを表現するためには、そのフォームはもはや人間のイデアのフォームとマッチしていません。それはどのようにして達成されるのでしょうか？人間のイデアのフォームを支えている法則にアンバランスを創造することによってです。そして今、球体のフォームを帯びているサイコノエティカル体があります。それもまた法則のアンバランスによる現れなのです。類似した現れ、アンバランスな現れがあり、アンバランスな現れと言う時、その意味はその現れはもはや生の本質を表現せず、それは生の現象である、ということです。

生の素質的可能性が影として現されるために物質が使用され、無知のステートに現在のパーソナリティーがいるとき、それは生の影、生の現象なのです。そしてその素質的可能性は物質の様々なエレメントです。もし私たちが自分のイメージを見たければ、イメージを見るための鏡が必要です。もし光の源がなく、影をつくるための表面がなければ、自分のイメージを見ることはできません。そしてその表面も勿論物質です。その光はどこから来ると思いますか？光は私達の内側にあります。しかし何が影をもたらすのでしょうか？そうです、私たちには源がありますが、しかし影があるためには肉体、物質が必要なのです。

Page5

Ｑ：鏡のなかにイメージをみるエクササイズにおいて、その影は本当のセルフではないのですか？

Ｋ：以前に正面に自分のイメージを見るエクササイズを行いましたが、その努力とはそのイメージのなかに入るためです。イメージの中に入り、そのポジションから自分の前に立っている自分の存在を見るのです；そのエクササイズのポイントは自分の弱点を見ることでした。法則と完全にマッチした体を使用することによって、離れた所から現在のパーソナリティーを観察したのです。それはとても良いエクササイズですが、しかしとても難しいエクササイズですがそれに向き合いましょう。視覚化の能力は必要です、そしてまたエーテルの様々な特質をマスターすることも必要ですので、それと向き合いましょう。そしてそれは真理の探究者にとって本当のワークです…もし探究者が本当に進歩したいと願うなら。そして一つの転生であなたが得たことは決して失われることはありません。

ある探究者が質問しました。「肉体の死という現象の後も、私たちは前進するのでしょうか？」と。あなた方はどう思いますか？前に述べましたね、他の諸世界は自分自身で創り出すと。何であれ自分の好きなものをそこで創造し、生きるのです。実際に自分が創造したものの中で生きるのです。気づきを高めるという努力はどうでしょうか；私たちはそれも続けるのでしょうか？どう思いますか？その世界では進歩前進があるのでしょうか？答えはイエスですが、ここに鍵があります。もしあなたが本当に興味を抱き、気づきの上昇のために時間を使うなら、確かにあなたは他の世界でもそれを継続するでしょう。しかし、もしあなたの興味が表面的なものであるなら、他の世界に行ってもそこで得られるものはほんの僅かでしょう。しかし、もしあなたが今このバイブレーションにおいてそれらの努力と共に生きるなら、向こうの世界で得られる成長は大きなものとなります。なぜなら、向こうの世界では５つの真の感覚をも使用するからです。そこでは物質界が与える困難はありません。困難、そうです、それは素質的可能性さえもが無知に対して与えるものです。それは素質的可能性が与えるものです。

ですから、向こうの世界における成長は、この世界、このバイブレーションにいる間にその人がどれだけ多くの興味を示していたか、どれだけ真剣であったかによって決まります。そしてその人は自分のパラダイスを生きます。なぜなら、そこでは何であれ自分の好きなこと、興味あることを行うからです。そのようになっています。様々なグループの探究者でさえ、彼らは現在のパーソナリティーとしてもこのリアリティーをいくらか生きています。彼らは向こうの世界、バイブレーションでの集まりを体験します、夢の記憶として；そしてそれをあなたに語ります、「昨晩レッスンを受けたよ」と。なかにはそこで何を言われたか、体験まで覚えている人もいます。記憶に橋がかかると、その体験を覚えていることができます。この世界では触れることのできない何かを誰かに話そうとすると、それは触れることができるようになります。そのようになっているのです。

Ｑ：もし私の理解が正しければ、現在のパーソナリティーは自己実現に到達した後、転生のサイクルを経ることを選択するでしょう、と言いました。その現在のパーソナリティーは自分が自己実現に到達したことに気づいており、そして戻ってきて、原因・結果の法則を生きることを選択するのでしょうか？

Ｋ：もし理由があるなら、その現在のパーソナリティーはそれに気づくでしょう。その理由をコントロールするのは法則、他の人間たちを転生させる生のスパーク、そしてまたその自己実現した現在のパーソナリティーの生のスパークと関係する原因結果の法則です。

時には自己実現した現在のパーソナリティーは転生しても自己実現して現在のパーソナリティーであることを知らないこともあります。それは経験次第です。そして経験は様々です。そしてもしその現在のパーソナリティーが自分が自己実現した現在のパーソナリティーであることを知らない場合、その人は何故自分が他人と異なるのかわからないのでしょうか？その理由は、比較がないからです。比較がないと私が言うとき、そして他の人間が同じ体験をしていないのを知らないと言うとき、その理由は自己実現した現在のパーソナリティーは自分の夢を生きるからです。その現在のパーソナリティーにとってそれは２番目の人生なのです。

Ｑ：彼らは自分が自分の夢を生きているのに気づいているのですか？

Page6

Ｋ：勿論です。自分の夢を生きているのを意識しています。しかし、もし比較することがなければ他の人々は自分とは違う経験をしていることをどうして知ることができるでしょうか？ジャッジしたりするためには比較が必要です。おそらく理由がそのパーソナリティーを目覚めさせるかもしれません。

彼らの体験は何であれ、他人の痛みを軽減するために背負わねばならない結果です。それゆえに最愛のお方は常に磔にされているのです。彼が肉体を通じて現れる時、磔にされるのは彼の肉体であり、現れとしての彼ではありません。体は磔にされます。法則がバランスを取り戻すために、体は苦しまねばならないのです。そして体と言うとき、その肉体に影響を与えている気づきをも意味します。いずれにしても、これを完全に理解するのはとても困難なことです。

Ｑ：もし私たちに選択の余地があったのなら、私たちはキリストを磔にしたでしょうか？それとも磔にしない選択もあったのでしょうか？それとも磔は避けられなかったのでしょうか？

Ｋ：いいですか、一度私たちが存在する限り、私たちは常に彼を磔にしているのです。

Ｑ：実際に磔が生じる前でもですか？

Ｋ：そうです。

Ｑ：と言うことは選択の余地がなかったということですか？

Ｋ：選択の余地はありません。どう思いますか？しかし、キリストは磔になるために来たのです。なぜなら、私が前に述べたように、絶対存在が継続的に黙想して以来、絶対存在が黙想しない時はなかったからです。創造界のなかで何が生じようとも、それらは黙想している生の特質だからです。

過去の多くのレッスンのなかで、創造界にあるもの全ては神の黙想によるものだと述べました。私たちは神、絶対存在のなかにいますが、しかし神もまた私達の内側にいるのです。そうです、現在のパーソナリティーとして私たちがこのスパークを現すなら…そのスパークとは主、神からのものですが、現在のパーソナリティーとして私たちが経験するもの全て、それを経験しているのは神であると見なすことができます。それについて考えてください。もし神は光であって創造界のなかの全ての人間を照らすなら、もし私たちがその光を現すことができるなら、その時何であれ現在のパーソナリティーが経験するもの、例え肉体としてであっても、それを背負うのは神なのです。そうです、海としての主でさえ、この世界、このバイブレーションにおいてはニーズ、必要性があるのです…神でさえも。神は人間のイデアを尊び、自分自身を人間のイデアの息子と呼びました。ですから実際、人間のイデアは様々なグループ、思想が見なしているよりもずっと偉大なのです。そうです、創造界は人間のイデアのためなのです。

Ｑ：彼はイエスキリスト・ロゴスとして他の銀河に行かねばならなかったのですか？

Ｋ：そうです。一つの惑星の人間があるレベルの気づきに到達し、その結果絶対存在の現れが人々によって理解され、その現れが人々と交流できるようになると（さもなければ彼は人間を導くことはできません）、それが生じます。それゆえに当時そのような現れが起きるのを待っていたのです。現在でもその現れが起きるのを待っている人間達がいます；わかりますか？当時人々はそれを期待し、それは起きました。この地球の大多数の人々はそれがわかりませんでしたが。そして後になって、人々は考えはじめ、そして受け入れたのです。そして今でもその現れを待っている人々がいます。そのような気持ち、そのような現れが訪れるという知識はどこから来るのでしょうか？それは実際私たちの内側にあるのです。それが私たちを活性化するものです。

私たちが主を見るとき、私たちは実際に真の自分、本来のセルフを見ているのです。勿論、そこには違いがあります。主は海です。それは全てであり、あらゆる人間、魂のセルフ・エピグノシスとしても全てのモナド・セルフを活性化する生の多重性です。しかし、活性化されても、それは生の特質を完全に現すことはありません。それは全てなのですが、しかしこの全てを私たちは抱きしめることができるのです。

EREVNA/SPA 78/A12/4/00